

第6回 海外医療支援活動 報告書 (2016)

パシフィックパートナーシップ2016 ～パラオでの医療支援活動～

私たちは8月4日～14日までの10日間パラオにて医療支援活動を行ってきました。パシフィックパートナーシップとは「2007(平成19)年より行われている米海軍を主体とする艦艇が太平洋地域内各国を訪問して、医療活動、土木事業及び文化交流などを行い、各国政府、軍、国際機関及びNGOとの協力を通じ、参加国の連携強化や国際災害救援活動の円滑化などを図る活動」であり、今回この活動に参加できたことはとても光栄なことでした。

今回の医療支援を行うにあたり、ビジョンバン(眼科医療支援車両)に眼科検査・手術機器を乗せ呉港まで行き、ビジョンバンごと輸送艦「しもきた」に乗せ、パラオに運んでいただきました。今回は活動場所を二手に分け外来検査・診察は上陸しビジョンバンで、手術は「しもきた」の手術室を使い活動を行いました。ビジョンバンでの外来は、いつもとは勝手が違うのはもちろんの事、初めての医療支援活動で戸惑う事ばかりで大変でした。患者が押し寄せ眼鏡合わせが間に合わなく、帰りが遅くなる日々でした。「しもきた」での手術は今回が初めてということで、初日は普段は感じない緊張感が漂っていましたが、全日通して順調に手術を終えることができました。ビジョンバンごと器材を運んだことにより、パラオでも日本と同等のクオリティーで手術を提供することができ、「しもきた」で初の手術の成功と今回の医療支援活動の実績に繋がったのだと思います。

「ペリリューの戦い」から70年以上経過し、私たちが行ってきた医療支援が少しでも日本とパラオの交友関係の手助けになればと思います。

パラオでの医療支援では、東北大学医学部、茨城高等学校・中学校、水戸第一高等学校、常陸大宮市をはじめとする皆様から善意で集められた眼鏡はパラオの人々に寄付させて頂きました。ありがとうございました。

外来患者数	671名	〈参加スタッフ 7名〉 内：医師 2名、看護師 2名 視能訓練士 2名、技師 1名 尚、眼鏡処方処方は処方箋発行も含む
手術件数	40件	
眼鏡処方	382件	



ビジョンバンでの診察



輸送船「しもきた」艦内での眼科手術



特定非営利活動法人 南太平洋眼科医療協会の
医療法人 小沢眼科内科病院

小沢忠彰